

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大桐中学校 学校協議会

学校のルールを守ることに関しては、アンケート結果からも高い規範意識が根付いており高く評価できる。

学力向上の面においては、外部テストの結果から、3年生において全体的に全国・大阪府・大阪市の平均を下回る結果となった。基礎学力の定着がこれまでに引き続いて喫緊の課題といえる。授業規律を守ったうえで、本校の取り組みとして「協同的学び」「主体的・対話的で深い学び」の実践に取り組んでいく。ICT（学習者用端末）の活用も定着してきているの今後さらにその成果が現れていく事を期待している。不登校生に関しては、深刻な課題の1つとなっている。コロナ禍を経て、登校しないことへのハードルが低下していることも要因のひとつと考えられるが、不登校生徒の割合の増加に歯止めがかからない状況が続いている。「いじめ等の未然防止・早期発見」・「安全で安心できる学習環境の構築」を行いつつ、放課後デイサービスやフリースクール等を利用する生徒も増加している現状を鑑み、文部科学省からの指示にもあるように、当該施設との連携を図り、利用生徒の利用日は出席認定とするなどして、少しでも生徒・保護者の不安を取り除いていきたい。心和中学校と連携した学習動画コンテンツの利用によって、不登校であった生徒がこのコンテンツを利用することで毎日大桐ルームに登校し、個別最適な学習が実現できている。

体力・運動能力については、今年度は特に2年生女子の平均数値が低く、全国平均をほぼすべて下回った。体力・筋力の向上に向けての取り組みを行う必要がある。これからも3年間を見据えた取り組みを継続していくことが必要である。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

・年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率については不登校と認められる生徒は2学期末時点で11.1%であり、好ましい変化はみられたが目標を達成することはできなかった。・年度末の校内調査における、不登校生徒の改善の割合は21.6%となり、昨年度を下回った。

・年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合は81%となり、目標の82%を下回った。

・年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合は98%となり、目標の96%を上回った。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合は44%で目標の35%を上回った。
- ・中学校チャレンジテストにおける国語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較したところ、3年(0.98%→0.94%)・2年(0.95%→0.97%)となり3年生は4ポイント下回り、2年生は2ポイント向上した。
- ・中学校チャレンジテストにおける数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較したところ、3年(0.87%→0.88%)・2年(1.06%→0.99%)となり3年生は1ポイント向上したが、2年生は若干下回った。
- ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)は43.2%で目標の42%を上回った。
- ・年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合は49%で目標の45%を上回った。
- ・令和7年度の中学校チャレンジテストの平均正答率(平均点)7割以下の生徒を同一母集団で比較したところ、2年生、3年生ともに、ほぼ変わらない状況であった。
- ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合は、男子(91.6%→90.7%)・女子(100.0%→87.6%)であった。男女とも全国を下回った。引き続き、体育科を中心として生徒の体力向上に向けて取り組んでいく。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、1月末までの授業で54.7%であり、目標の50%を上回った。
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合は、2月末の段階で78.3%であり、目標を上回った。
- ・令和7年度の端末利用調査において、いずれかの生徒が端末を活用している日の、登校日に占める割合は100%で、目標を達成した。
- ・夏季休業期間中に4日間、冬季休業期間中に2日間の学校閉庁日を設けた。
- ・年度末の保護者アンケートの「学校は、家庭・地域に開かれた取り組みをよく行っている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合は83%で目標通りであった。

3 今後の学校運営についての委員からの意見

- ・不登校が増えてきているとのことですが、放課後デイやフリースクール、教育支援センターにつなげるなどして、登校に向けて改善を目指して欲しい。また、ネグレクト・ヤングケアラーと思われる児童生徒が増えているように思われる。心和中学校との連携でスタディーサプリを使用している生徒が

継続して大桐ルームに登校しているとのこと。今後も引き続き連携をしてほしい。

- 部活動の地域移行について、今後、学級減が進み生徒も先生方も減る中で、先生方の負担を減らしつつ、子どもたちの活動の場を保障していただけるよう改革を進めてもらいたい。
- 令和 9 年度からの体育館建て替えについて、次年度（令和 8 年度）から具体的に準備しなければならない。小中連携や、地域の施設を借りるなど、中学校だけでなく、地域とも協力して進めていかなければならないと思う。
- 大桐中学校の伝統を今後も継承し、引き続き素晴らしい先生方に囲まれ、素晴らしい教育を期待している。
- 教職員はよく頑張ってくれている。感謝している。